



## 令和元年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、今年度における都市整備部の基本方針および重点的に取り組む項目を次のとおり定め、着実に推進します。

令和元年5月8日

都市整備部長 久野 茂嗣 (5月31日退任)  
長谷川 伸英 (6月1日就任)

### I 基本方針

- 1 道路施設の長寿命化や身近な生活道路の修繕を行い、安全・安心な道路環境整備に努めます。また、福井国体で実施した美しいまちづくりを継続し、街路樹や道路の清掃を行うとともに、道路空間の美化保全を市民協働で取り組み、日本一美しい魅力あるまちづくりを推進します。
- 2 近年多発する大規模災害の未然防止のため、河川や雨水幹線の整備、田んぼダムの推進、河川の浚渫や伐木による洪水被害の軽減や治山ダムの整備などによる土砂災害の防止を図り、市民が安心して住み続けることができる水害に強いまちづくりを推進します。
- 3 農地の集積・集約化および効率的かつ安定的な農業経営を図るため、新たな集落基盤整備事業により老朽化した農業用排水路の更新整備と、集落道の拡幅等の整備を行います。また、継続的な森林経営のための基盤整備と併せて、里山環境保全のための森林保全整備や管理放置林の解消に取り組みます。
- 4 北陸新幹線整備の推進のため、引き続き支援計画に基づく地域振興策の対応や道・水路等の機能回復工事を進めるほか、本格化する工事による生活環境への影響についても、鉄道・運輸機構、県、施工業者と連携し取り組み、沿線住民の安全安心の確保に努めます。
- 5 安全で安心して住み続けられる都市空間の形成に向け、地域資源を活かした都市計画・土地利用の推進や、駐車場・駐輪場など都市施設の利便性向上に努めます。また、北陸新幹線敦賀開業や国道417号冠山トンネル開通による首都圏・中京圏との交流促進を見据えた交通体系の確立に取り組みます。さらに、西山公園の魅力を上向きさせ、賑わいのある中心市街地に寄与するため公園施設の快適性を向上し、来園者の増加を図ります。
- 6 空き家情報バンクを活用した利活用可能な空き家の流動化、民間木造住宅の耐震化率向上、市営住宅のストック改善に取り組み、安心して快適に暮らせるまちの創造に努めます。
- 7 地震等の災害時においても安全な水道水を持続して供給するために、老朽施設の更新や管路の耐震化を計画的に取り組みます。また、健全な事業運営を行うため、余剰施設の廃止により経費削減に努めます。

- 8 公共下水道および農業集落排水への接続推進や合併浄化槽の設置促進を図り、公共用水域の水質保全に取り組みます。また、的確な経営状況の把握と適正な資産管理、維持管理費の縮減に努め、下水道事業経営の健全化を図ります。



## SDGs推進に係る重点取組項目



子どもから高齢者まで全ての市民が安全、安心して生活ができるよう道路・河川・公園・下水道・駐車場などの都市施設や市営住宅の整備更新に取り組むとともに、里親制度による市民協働のまち美化に努め、目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。

また、水源涵養や生態系保全、里山など様々な機能を有する森林の景観再生や林道整備に取り組むとともに、上水道管路の耐震化を推進し、目標6「安全な水とトイレを世界中に」および目標15「陸の豊かさも守ろう」の達成を目指します。

## II 重点的に取り組む項目と具体的な目標

### 1. 安全安心な道路環境とまち美化の推進

安全・安心な道路環境とするため、長寿命化修繕計画に基づき道路施設の適正な維持管理に努め、快適な歩行空間整備や街路樹や道路の清掃に取り組みます。また、冬期間の安全を確保するため、消雪施設の適正な維持管理に努めます。さらに、道路・河川の里親制度を普及し、市民とともにまち美化に努めます。

◆ 橋梁長寿命化事業（6m以上の修繕工事の実施）	2橋
◆ 消雪水源施設点検整備	4箇所
◆ 道路美化延長（スーパーによる道路清掃）	10,000m
◆ 鯖江駅北線の道路改良（歩道段差解消、消雪整備）	150m
◆ 街路樹へのガザニア植栽（メガネストリート）	1箇所
◆ 道路・河川里親の新規登録数（H30年度末 登録数42件→43件）	1件

### 2. 災害に強い河川等の整備

市民の生命や財産を水害から守るため、県と連携して治水対策（河和田川、吉野瀬川の改修など）や土砂災害防止対策に取り組みます。また、安全・安心なまちを創出するため、雨水幹線（御幸神中一号雨水幹線・日之出舟津雨水幹線・丸山二号雨水幹線など）の整備を推進するとともに、田んぼダムの区域拡大により河川の負担軽減を図ります。

◆ 河川施設の整備延長（H30年度末 整備率60.9%→62.1%）	600m
◆ 河川の適正な維持管理（浚渫、伐木）	3河川
◆ 土砂災害防止施設の整備促進 （新規採択：上山川 早期完成：小谷川、上谷川、毘沙川）	4箇所
◆ 雨水幹線・支線排水路の整備延長（H30年度末 整備率45.4%→45.6%）	600m
◆ 論手川拡幅工事の推進（整備全体延長 L=1,620m）	300m
◆ 田んぼダム整備面積	120ha

### 3. 農林業生産基盤整備の推進

農業生産基盤の老朽化に伴う維持管理費の軽減および生産効率の向上を図るため、老朽化した農業用施設の整備を実施します。また、森林は水源涵養や生態系保全、里山としての市民の憩い場といった様々な機能を有しており、その機能を維持発揮するため、効率的な林業経営に資する林道などの基盤整備および自然環境や生態系に配慮した森林整備を実施します。さらに、管理が放置された放置林の解消に向けた取り組みを実施します。

◆ 農業用排水路、道路整備	8路線
◆ 林道整備延長（路線改良、排水改良）	1,100m
◆ 森林景観の再生（雑木伐採、花木等植栽）	2地区
◆ 管理放置林の解消に向けた意向調査準備	3月

### 4. 北陸新幹線の着実な推進

北陸新幹線整備事業は、沿線集落との協議が十分に行われるよう鉄道・運輸機構、県と地元との関係の調整を図ります。また、沿線集落からの要望については市の整備計画に基づき計画的に実施し、用地協議や工事が円滑に推進するよう努めます。

◆ 地域振興策の実施（吉谷町公民館等の整備）	1箇所
◆ 沿線集落との調整会議	10回
◆ 広報紙等での市民への情報提供	2回

## 5-1. 適正な都市計画・土地利用の推進と都市施設の利便性向上

適正な都市計画・土地利用を図るため立地適正化計画を推進するとともに、駐車場や駐輪場など都市施設の更新を行い利便性向上を図ります。

◆ 道路・土地利用等の都市計画に関する説明会やHPでの情報発信	3回
◆ 仮称「西山公園・鯖IC」連絡道路の整備に向けた関係機関協議	3回
◆ 市営駐車場・駐輪場の夜間パトロール	12回
◆ 市営駐車場・駐輪場への防犯カメラ設置	10箇所
◆ 市営駐車場の機器更新	1箇所

## 5-2. 魅力的で快適な都市公園の推進

都市公園の魅力向上を推進するため、西山公園を始めとする公園が市民に愛される憩いの場となるように努めるとともに、公園施設の改修を行い快適性と安全性の向上を図ります。

◆ 道の駅「西山公園」来館者数	60万人
◆ 西山動物園来園者数	21万人
◆ 西山公園内の防犯カメラ設置	5箇所
◆ 公園里親の新規登録数（H30年度末 登録数146箇所→148箇所）	2箇所
◆ 公園案内板整備	2箇所
◆ 西山公園トイレ洋式化	2箇所

## 6. 安心して快適に住み続けられるまちづくりの推進

空き家情報バンクの有効活用、空き家利活用支援を通じ、利活用可能な空き家の利用促進および定住促進を図ります。

また、広報活動等による民間木造住宅の耐震化率向上、長寿命化計画に基づく市営住宅ストックの改善を行うことにより、安心して、快適に住み続けられるまちづくりに努めます。

◆ 鯖江市空き家情報バンクへの新規登録	10件
◆ 空き家利活用支援	5件
◆ 未耐震住宅耐震化啓発活動	5回
◆ 市営住宅ストック改善事業の実施	2棟

## 7. 安全でおいしい水の安定供給

地震等の災害時においても、重要施設や避難施設へ安全な水道水を持続して供給するため、重要管路の耐震化を図ります。また健全な事業運営のため、余剰施設を廃止します。

◆ 耐震管路の整備延長（H30年度末 整備率61.7%→62.8%）	770m
◆ 余剰施設の廃止	1件

## 8. 下水道の普及促進

公共下水道および農業集落排水への接続や認可区域外等に合併処理浄化槽の設置を促進し、市民の生活環境の改善のため公共用水域の水質保全に努めます。特に、未接続宅に下水道接続依頼の訪問を行い、水洗化率の向上を図ります。また、不明水家屋調査を実施し、誤接続等の指導改善を行います。

◆ 下水道新規接続の推進	
・ 公共下水道の接続率 (H30年度末 93.8% → 93.9%)	新規接続件数 20件
・ 農業集落排水の接続率 (H30年度末 92.2% → 92.3%)	新規接続件数 10件
◆ 合併浄化槽の設置基数	30基
◆ 未接続宅に対する接続依頼訪問戸数	200戸
◆ 不明水家屋調査の実施戸数	100戸
◆ 公共下水道施設ストックマネジメント実施方針の策定	3月